

2012年

本屋大賞

翻訳小説部門

犯罪

フェルディナント・フォン・シーラッハ
酒寄進一 訳

第1位

現役の刑事事件弁護士の著者が現実の事件に材を得て、異様な罪を犯した人間たちの哀しさ、愛おしさを鮮やかに描いた連作短編集。



やたらと面白い。

どの短編にも犯罪に巻き込まれる人々の人生が凝縮されていて、その巡りあわせの妙に圧倒される。

瀧井朝世 (波 2011年8月)

多くの読書人后感嘆させた傑作、
待望の文庫化!